

福井県文化芸術推進会議における学生WG設置について（案）

1 目 的

- ・若者世代の視点を福井県の文化政策に反映させ、政策の多様性・実効性を高める
- ・学生らが文化政策の現場に関与する機会を通じ、次世代の担い手としての自覚と関心を育む

2 学生WGの構成

- ・福井大学、福井県立大学、福井工業大学、仁愛大学、仁愛短期大学から各1～2名学生の推薦を受ける
- ・学生の専門分野は固定せず、文化・芸術・まちづくり・社会課題等に関心のある学生を幅広く対象とする
- ・メンバーの任期は原則1年とする（最大2年まで更新可）

3 活動内容

○ミーティング（10月、12月、2月）

- ・文化課職員がファシリテーターとなり、意見交換を行う
（テーマ案：次世代（子ども・若者）の担い手育成に向けて）
- ・必要に応じて、推進会議の委員にも参加を依頼し、意見交換を深める
- ・意見交換から生まれたアイデアをもとに、学生による政策（事業）提案を行う

○文化芸術推進会議への出席

- ・会議にオブザーバーとして出席し、提案を発表 → 委員と意見交換

⇒ 学生からの提案については、R9年度の事業化に向けて文化課で引き続き検討を進める

4 スケジュール

R7年	9月	第3回文化芸術推進会議	学生WGについて了承を得る
	10月	ミーティング①	顔合わせ、アイデア出し
	12月	ミーティング②	提案のブラッシュアップ
R8年	2月	ミーティング③	提案の発表準備
	3月	第4回文化芸術推進会議	学生出席→提案発表 →委員との意見交換